

川崎市立川崎病院通信



川崎市立川崎病院
シンボルツリー



川崎市立川崎病院の基本理念

私たちは、地域の基幹病院として、他の医療機関と連携し、「病気」でなく「病人」を診る心を大切に、安全安心で質の高い医療を、患者の皆さまとともに考え、実践し、健康と福祉の向上を通じて地域社会の発展に貢献することを目指します。



患者総合サポートセンター

大特集！！



患者総合サポートセンターは地域医療連携、医療福祉相談、もの忘れ相談室、がん相談支援センター、入院センター、入退院支援・調整という6つの部門で構成されています。

地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携強化、患者さんへの質の高いきめ細やかな支援を行う相談支援体制を整え、地域や社会の架け橋となれるよう、日々取り組んでいます。

今回は各部門の役割を中心に詳しくみていきましょう！！



NEXT PAGE

6つの部門それぞれの役割とは！？

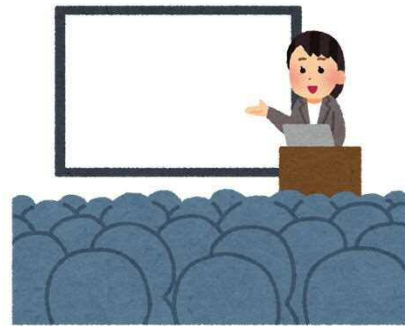


患者総合サポートセンターを深掘りします！！

～各部門の役割について～

地域医療連携

地域の医療機関からの受付や相談窓口として、また、顔の見える密接な地域連携を目指し、外来診療の事前予約受付や地域医療連携の会・市民公開講座の開催などの業務を行っています。



もの忘れ相談室

令和3年4月に開設した認知症についての相談窓口です。認知症の患者さんやご家族に対する相談支援全般に取り組んでいます。相談は電話または面談により精神保健福祉士・公認心理師が対応します。



がん相談支援センター



患者さんやご家族に信頼できる情報提供を行うことで、その人らしい生活や治療選択ができるように相談支援を行っています。がんと診断されたときから、治療や療養生活などのあらゆる相談を受付けています。

医療福祉相談

病気やけがで生じる医療費や生活費などの経済的な不安や、福祉制度の利用について、医療ソーシャルワーカーが社会福祉の立場から相談に応じています。



入退院支援・調整

入院中の患者さんが、可能なかぎり住み慣れた地域でその人らしい暮らしを最後まで続けられるよう、退院支援や調整を行っています。



入院センター

患者さんやご家族が不安なく入院生活を送れるよう、またスムーズな退院支援・退院調整につながるようサポートしています。



新しい移転先でパワーアップ↑↑

現在、川崎病院では異常気象による災害対応や、時代のニーズに合わせた改修工事を計画的に進めています。その一環として、7月にエネルギー棟が竣工しました。

竣工に合わせ、当院3階に設置していた患者総合サポートセンターは、エネルギー棟1階に移転しました。今回の整備では、センター内に新たに相談室を2室設け、これまで以上に充実した相談支援体制を整えました。

移転を機に、ますますパワーアップした患者総合サポートセンターを今後ともよろしくお願ひいたします！



新しい移転先であるエネルギー棟

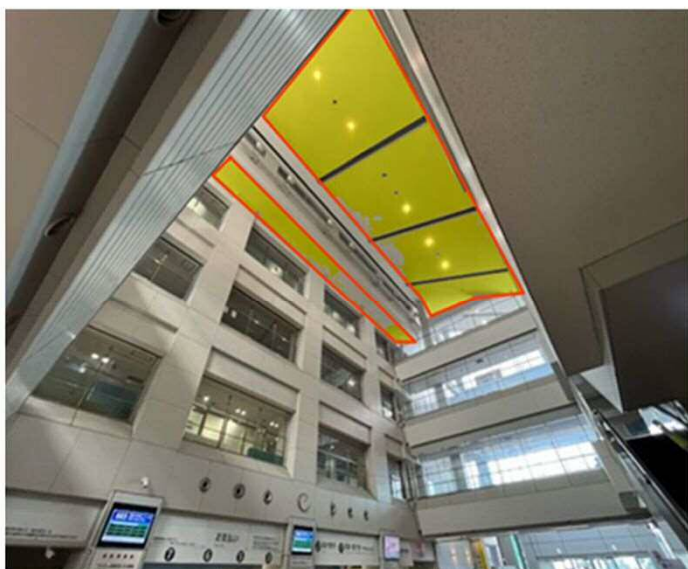
～災害に強い病院を目指して～

川崎病院中央待合ホールの天井を軽量化天井に改修します！

中央待合ホールの天井について、耐震補強を行うとともに、天井材を軽量なものに変更する工事を実施する予定です。

工事は令和6年1月頃から7月頃までで、休日・夜間の作業を予定しています。なお、工事期間中におきましてもこれまでどおり来院は可能ですので安心してご利用ください。

今後も災害拠点病院として、災害に強い病院を目指してまいります！



工事予定の天井



〈文責：病院局経営企画室病院施設整備担当〉

患者さんの権利

当院は、患者さんの医療にかかわる、次の権利を尊重します。

- 1 生命の尊厳と、人格を尊重した医療を受ける権利があります。
- 2 安全安心で質の高い医療を平等に受ける権利があります。
- 3 ご自身の病気や治療について知る権利を持ち、わかりやすく説明を受け、希望や意見を述べる権利があります。なお病名や予後について知りたくない場合は、そのお気持ちを尊重します。
- 4 ご自身が受ける医療を自らの意思で選択あるいは拒否する権利があります。
- 5 ご希望により、診療のいかなる段階においても、他の医師および他の医療機関の医師の意見（セカンド・オピニオン）を求める権利があります。
- 6 診療上の個人情報は厳重に保護され、その秘密は守られます。